



タイトル

つくば市職員グループが県主催の政策アイデアコンテストで優秀賞を受賞し
内閣府主催コンテストで全国大会へ進出！

<項目> (あてはまるものすべてにチェック)

イベント・会議等の事前周知依頼 イベント・会議等の取材依頼

イベント会議以外の事業の周知依頼 参加者募集の告知依頼

その他 (職員の受賞報告の周知依頼)

全 2 枚 (本紙含む)

<茨城県主催「茨城県地方創生政策アイデアコンテスト」について>

つくば市職員のグループ (3 名) が茨城県主催の「茨城県地方創生政策アイデアコンテスト」で優秀賞を受賞しました。

当コンテストは「地域経済分析システム (RESAS リーサス)」を活用し、自らの地域の現状や課題等の分析を踏まえ、政策アイデアを創出し、アイデアを地域づくりに生かすことを目的としています。

<最終審査会について>

●応募状況 総提案数計 21 組 → 最終審査進出 12 組

●日時 平成 28 年 12 月 11 日 (日) 13:00~16:00

●会場 常陽藝文ホール 7 階ホール

●審査方法 各組プレゼンテーション 5 分, 質疑 4 分

●受賞者 最優秀賞 常総市 3 校合同 6 班

テーマ「MADE IN JOYSO」

優秀賞 TSUKUBA NO MIRAI+ PROJECT (つくば市職員グループ)

テーマ「科学都市の推進 -大型店舗撤退後の跡地利用策検討-」

奨励賞 大内麻奈 (茨城中学校 2 年生)

テーマ「茨城県県北地区の農業生産額アップ」

茨城大学米倉研究室

テーマ「I ターン (茨城県北移住促進)」

※プレゼン資料の提供可

●提案の概要

筑波西武撤退後の跡地利用策の検討を行った。
検討に当たり、つくば市中心部の売り上げ減少理由や利用者層について分析を行い、TX 沿線市への消費流出や店舗周辺は平日と休日で利用者層が異なること等が判明し、中心地区の賑わい創出や消費喚起のため、利用者層にあわせてつくば市の持つ地域資源である、大学研究機関の知見や科学技術を活かした OpenLab を提案した。また、効果検証の方法として、ゴミの発生量による消費動向の把握を併せて提案している。

補足説明

地域経済分析システム (RESAS) とは、まち・ひと・しごと創生本部事務局が提供する、産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムです。

(様式1)

● 審査員（審査委員長 大澤義明筑波大学教授ほか）による評価のポイント

- ・ RESAS を活用してどのようにデータ分析を行うか
- ・ 地域性を踏まえながら、ロジカルに説明するためのストーリーの作り方
- ・ プレゼンテーション

● 応募の経緯

茨城県主催の RESAS 活用講座の受講者 3 名により、庁内におけるデータ分析の政策提案、評価への利活用促進と RESAS の庁内外への周知を目的に、政策アイデアコンテストへの提案を行った。

<内閣府地方創生推進室主催「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2016」について>

同提案は関東地区の地方予選（8 地区）を通過し、全国大会一次審査に進出しました。なお、茨城県のコンテストは内閣府の予選ではなく、別の審査過程を経ております。

● 経過

全国で 700 件（関東で 170 件）の応募のうち、今回地方予選を通過した 49 組について、全国審査委員 5 名により全国第 1 次審査を行い、最終審査会に進出する 10 組（各部門 5 組）が決定し、1 月上旬に公表予定。最終審査会は 2017 年 1 月 21 日（土）に東京大学伊藤謝恩ホールで実施予定。

地方予選(8地域)



● 募集テーマ

あなたが暮らす、または、ゆかりのある地域の現状・課題について、「地域経済分析システム（RESAS：リーサス）」を使って分析し、そのうえで解決策となるような政策アイデアの提案。「あなたの地域の未来をよりよく変えていく、創意あふれる提案」を募集。

● 応募区分

高校生以下と大学生以上一般

<政策提案の今後の活用について>

12 月 12 日（月）に五十嵐市長へ受賞報告を行ったことに加え、今後は庁議等で特別職及び部長級職員等への分析内容の報告及び政策提案を実施する予定。